



高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

農業振興は地域の至上命題

効果的な取組み、県に要望

北総中央用水利用拡大へ

地元富里市の農業振興に力を注いでいる高橋祐子県議(2期)は12月定例会県議会で登壇し、熊谷知事らに県の施策を尋ねました。高橋県議は、課題になっている北総中央用水の利用拡大や、スイカ産地の発展、トマトの高温対策について県の取り組みを質問しました。また、子宮頸がんワクチンの接種機会を逃した人に無料で接種を行う「キャッチアップ接種」について、対象者全員への周知徹底を要望しました。高橋県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

12月定例会県議会一般質問

高橋議員 利根川の水を北総地域の農地へ安定的に送るため、国は幹線用水路などを整備する北総中央用水事業を昭和63年に着工し、令和2年度に工事 completed。

からポンプで圧送されるため、水量が安定しているのでも、ぜひ有効活用してほしいが、県による末端施設の整備は、富里市内の2地区などに限られており、他の市までは整備が進んでいない。

また、県と関係7市では、事業を推進するため、国営事業が完了するまでの措置として、土地改良区への運営助成を行ってきたが、今後は自立し安定した運営ができるよう、水利利用者の拡大が必要不可欠になる。

新たな費用負担に躊躇している農家の方々のご理解を得ることなどが課題となっており、

引き続き、水利利用の効果を周知するとともに、土地改良区や関係市と連携し、地元農家の要望を踏まえたきめ細かい整備内容を検討するなど、北総中央用水の利用拡大を進めてまいります。

地元負担の軽減を

再質問 高橋議員 モデルほ場の効果を周知しているにもかかわらず、水利利用の拡大が進まない要因として、地元で利用されている井戸のポンプの更新時期と県の支線用水路等の整備時期がうまく合わないことも

家の方々のご理解を得ることが大切ですが、水利利用の拡大が進まない要因として、地元で利用されている井戸のポンプの更新時期と県の支線用水路等の整備時期がうまく合わないことも

の増加や品質向上、作業の省力化について調査・分析を行い、その効果の周知を図っているところです。

高橋議員 施設の維持管理に要する地元負担の軽減を図るべきと思うがどうか。

農林水産部長 今後、増加が見込まれる修繕や故障時の費用については、補助率が高い国の事業を活用して地元負担の軽減につながるよう、関係機関と調整してまいります。



農業振興などについて県の施策を質問する高橋祐子県議

高橋議員 富里市の特産品でもあるスイカの産地の維持・発展に向け、県ではどのような取組んでいるのか。

農林水産部長 北総中央用水の計画区域では、用水を井戸に依存する農家が多いことや後継者問題から、

高橋議員 富里市の特産品でもあるスイカの産地の維持・発展に向け、県ではどのような取組んでいるのか。

知事 本県のスイカは、全国第2位の産出額を誇る代表的な農産物であり、今後も消費の拡大や生産性の向上に取り組む、産地を維持し、発展させていくこと

高橋議員 富里市の特産品でもあるスイカの産地の維持・発展に向け、県ではどのような取組んでいるのか。

知事 本県のスイカは、全国第2位の産出額を誇る代表的な農産物であり、今後も消費の拡大や生産性の向上に取り組む、産地を維持し、発展させていくこと

産出額全国第2位のスイカ 「産地と連携して」 知名度二層向上

知事答弁

高橋議員 富里市の特産品でもあるスイカの産地の維持・発展に向け、県ではどのような取組んでいるのか。

知事 本県のスイカは、全国第2位の産出額を誇る代表的な農産物であり、今後も消費の拡大や生産性の向上に取り組む、産地を維持し、発展させていくこと

要望 高橋議員 県の力強い支援をよろしく願っています。

対象者への周知徹底を

子宮頸がんワクチン 接種機会逸失の人へ キャッチアップ接種

無料で実施

令和7年3月まで

高橋議員 子宮頸がん予防のためのHPVワクチンは、接種後に原因不明の痛み等を訴える人が相次いだことから、接種の積極的勧奨が一時的に差し控えられたが、その後安全性について懸念が無いとされ、昨年度から積極的勧奨が再開された。積極的勧奨の差し控えによって接種機会を逃した方が無料で受けられる「キャッチアップ接種」が、令和7年3月まで実施されることになったが、厚生労働省の調査で、キャッチアップ接種について対象者本人の53%が「知らない・聞いたことが無い」と回答した。

そのため、まずは対象者や保護者に対して正確な情報を周知して、接種を検討することが必要と考える。そこで、かがうが、HPVワクチンのキャッチアップ接

対象者の半数が「知らない・聞いたことがない」



県執行部の答弁に対し、再質問をする高橋県議

外国人生徒児童を支援

保健医療担当部長 積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へのHPVワクチンのキャッチアップ接種については、令和4年度から6年度までの3年間に限り実施しており、対象者等への個別通知は地域の実情に合わせて市町村で判断しているのか。

高橋議員 公立小中学校に在籍し、日本語指導を必要とする外国人児童生徒へ向けて、県教育委員会はどのように支援しているのか。

教育長 外国人児童生徒が、日本の学校に适应し、安心して生活できるようにするには、日本語の力や家庭の状況を把握した上で、個に応じたきめ細かな支援を行うことが必要です。

日本語指導教員 小中学校に配置

そのため県教育委員会では、本年度、日本語指導を充実させるための教員を、公立の小中学校86校、中学校22校に配置し、教室での授業補助や、別室での個別指導を行っています。

また、学校生活の様々な場面で外国人児童生徒をサポートする人材や翻訳機の導入などにかかる経費の一部を、市町村からの申請に基づき助成しています。

● 県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

新生児マスキング検査

高橋議員 子どもが生まれてから受ける様々な検査の1つに、新生時のマスキング検査があるが、公費による検査の対象が、現在20疾患に限定されており、対象外の疾患については、保護者の負担が生じることから、検査を受けられなくなる子

対象疾患の拡大必要

子どものことが懸念される。脊髄性筋萎縮症や重症複合免疫不全については、国がモデル検査を検討しているとの報道があった。本県も前向きに進めていただきたい。

検査事業として県内医療機関で出生した新生児に対し、早期に発見すれば治療可能なフェニルケトン尿症等20疾患のマスキング検査を実施している。

近年の治療薬の開発や疾病の研究等により早期の対処が有効な疾患について、追加の必要性の指摘を受け、国で調査研究が行われているところ。

現在、重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症の2疾患の検査について、実証

要望

高橋議員 新生児マスキング検査について、国のモデル事業の動向を注視するとともに、体制整備に向けしっかりと取り組んでいただくよう要望する。

高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校付属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年、27年富里市議会議員(2期)
- 平成31年千葉県議会議員当選
- 令和5年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 環境生活警察常任委員会副委員長
- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 生活衛生適正化審議会委員
- 自民党千葉県連女性局長